

# 第14回連携授業実施のお知らせ（保健学科）

神戸大学の先生の授業を体験できる「連携授業」を、医学部保健学科で開催します。神戸大学附属ならではの、大学を身近に感じる機会です。是非ご参加ください。



開催日時：平成30年11月24日（土）

開催場所：神戸大学医学部保健学科（名谷地区）

※集合場所等の詳細は、後日参加者宛てにお知らせします。

対象者：神戸大学附属中等教育学校の生徒及びその保護者

申込方法：このプリントの下部にある参加申込書を、グローバル教育推進室に提出してください。参加申込の締切は10月22日（月）です。

※応募者が定員を超過した場合、抽選を行うことがあります。



## 当日スケジュール

### ①【小学生向け連携授業】「寄生虫のふしぎな世界」

12時50分開始/14時10分終了予定 ・別室受講 ・自由参加

講師：入子 英幸 准教授

寄生虫って聞いたことがありますか？ 寄生虫は、他の生物の体内にかくれて生きています。この不思議な生き物は、からだの形、栄養を取り込む仕組みなど、いろいろな工夫を凝らして生きています。寄生虫って、すごいのです。この授業では、寄生虫の巧みな生き方を紹介します。



※小学校向け連携授業は、授業を行っている教室とは別室で、モニター越しの受講となります。

※別室は、途中入退室・飲食可能ですが、ゴミは各自でお持ち帰りいただきます。

※小学生向けの授業が終わるまでは全員、別室で待機となります。

※小学生向けの授業が終わり次第、別室から中等生向け連携授業を行う部屋に移動します。

### ②【中等生向け連携授業】

#### 「脳の仕組みと働きを、リハビリテーションの観点から学んでみよう！」

14時10分開始/15時40分終了予定 ・途中入退室不可 定員：160名 講師：種村 留美 教授

脳は、前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉と、4つの「葉」から成り立っています。それぞれの働きは違って、例えば、皆さんの勉強に必要な、「考える」、「覚える」、「聞く」、「見る」、「書く」、「話す」などは脳の異なった場所が働いています。では、交通事故などで脳にダメージが起きたら、これらの機能はどのようになるのでしょうか？ リハビリテーションの観点から、本授業では楽しく脳の機能を学んでいきましょう。



※実習/見学を希望する生徒は必ず中等生向け連携授業も受講してください。

※保護者は別室で、モニターでの受講となります。

✂ キリトリ ✂

★ **平成30年11月24日（土）開催 神戸大学連携授業参加申込書** ★

神戸大学医学部保健学科との連携授業への参加を希望いたします。




附属中等教育学校 年 組 \_\_\_\_\_ (生徒名前)

保護者も参加する場合は記入→ \_\_\_\_\_ (保護者名前)

連携授業当日、連絡の取れる電話番号： \_\_\_\_\_

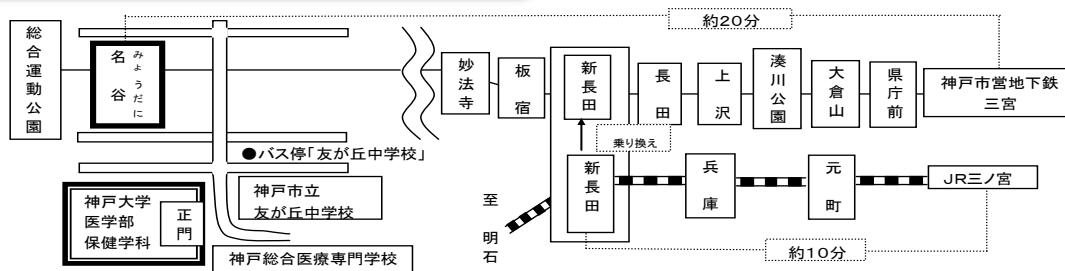
裏面もご記入ください→

### ③【中等生向け 専攻別の実習/見学】

<p><b>看護学専攻</b> 講師: 本田 順子 先生、賀数 勝太 先生</p>	<p><b>検査技術科学専攻</b> 講師: 亀岡 正典 先生、入子 英幸 先生、小瀧将裕 先生</p>
<p><b>「バイタルサインって何? バイタルサインを測ってみよう!」</b> バイタルサインとは、何でしょう? それはひとが生きている状態を示すものです。例えば、生きていれば、心臓がうごき、呼吸をし、体温を維持します。バイタルサインを測ることによって、ひとの健康状態をみるることができます。どのようにして測るのか、実際にお互いまたは赤ちゃんのモデルを使ってやってみましょう!</p>  <p style="text-align: right;"><b>定員: 15名</b></p>	<p><b>「ウイルス・寄生虫検査学実習」</b> ウイルスや寄生虫感染症の診断法として、ウイルスや寄生虫そのものや、ウイルスが感染した細胞を検出する、いわゆる病原学的検査と、感染によって血液中に誘導されたウイルスや寄生虫に対する抗体を検出する血清学的検査があります。今回の実習では、ウイルスが感染した細胞や寄生虫標本などの観察とスケッチを行います。感染性を持つ病原体は扱いませんので安全に病原学的検査について学んでもらいます。</p> <p style="text-align: right;"><b>定員: 15名</b></p>
<p><b>理学療法学専攻</b> 講師: 井澤 和太 先生</p>	<p><b>作業療法学専攻</b> 講師: 内田 智子 先生、篠川 裕子 先生、渡部 貴史 先生</p>
<p><b>「ポンプとしての心臓と体のしくみとの関係は?」</b> 皆さんは‘たったり、歩いたり、蓋を開けたり’何気なく出来ているかもしれません。では、なぜ出来るのでしょうか? また、人は、生きるために“活動”をしています。体の隅々まで血液や栄養分を送っている‘心臓=ポンプ’もその活動の一つです。このポンプが思うように動かなくなるとどうなるのでしょうか?</p>  <p style="text-align: right;"><b>定員: 10名</b></p>	<p><b>「作業療法学専攻 紹介」</b> 作業療法は対象者の生活活動を医学的に支援するため、日常生活における動作を用いて身体機能や精神反応を引き出す専門技術です。今回は、病気や事故によるマヒや切断などの身体に起こる障がいについて学び、障がいがあっても道具(箸、爪切りなど)を工夫することで、ひとりで動作ができる自助具を紹介・体験します。</p>  <p style="text-align: right;"><b>定員: 10名</b></p>

障がいを理解するため、またより良い方法を見つけるため利き手ではない側の手でアイロンを操作する体験

**神戸大学医学部保健学科へのアクセス**



**【経路例】**※連携授業当日は、お車や自転車等での会場への乗り入れができません。公共交通機関のご利用にご協力をお願いいたします。

- (例1) 自宅—(徒歩)—阪急岡本駅—阪急三宮駅—地下鉄三宮駅—地下鉄名谷駅—(徒歩)—神戸大学医学部保健学科
- (例2) 自宅—(徒歩)—JR明石駅—JR新長田駅—地下鉄新長田駅—地下鉄名谷駅—(徒歩)—神戸大学医学部保健学科
- (例3) 自宅—(徒歩)—神戸市バス78系統 名谷駅前—神戸市バス78系統 友が丘中学校—(徒歩)—神戸大学医学部保健学科

✂ キリトリ ✂

○実習/見学を希望する方は、第三希望まで専攻の名前を以下にご記入ください。

第一希望	第二希望	第三希望

↓ご自宅から会場までの経路を、「保健学科へのアクセス」経路例にならって枠内にご記入ください。

※交通事情及び安全管理上、事前に経路及び方法について把握させていただくものです。